※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）ＭＥ応用実習１	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習全体への到達目標について、自分で考えることを重視するとともに、使用する各種機器の利用においての安全管理に重点を置いた実習指導を行なう。

２　学習の到達目標

・機械・電気に関する幅広い知識に関心を持ち、様々な技術を身につけるようにする。
・機械実習では各種加工等の基礎技術、電気実習では３Ｄモデリングの基礎の習得をめざし、計画的に課題製作を行うとともに、実習を通じて感じたことを表現し、他者に伝えることができる。
・課題製作等で生じる問題の解決に向け、主体的に取り組み、また他者と協力しあいながら取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械・電気の実習に関する応用的な知識と技術を身に付け、ものづくりを合理的に計画し、その知識と技術を適切に活用できる。	機械・電気の実習に関する課題の解決をめざして思考を深め、応用的な知識と技術を基に、適切に判断し、製作する能力を身に付ける。	機械・電気の実習に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	応用加工実習（Ａ）	・各種加工技術の基礎・基本を学習し、各種機械を使用して課題図面どおりに加工していく。	a:各作業に使用する工具を正しく安全に使い、機械作業の応用が理解できる。 b:作業内容の掌握および効率化を図るとともに、技術を応用し、精度の高い課題製作ができる。 c: 毎回の「振り返り」を行い、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
	モデリング実習（Ａ）	・モデリングの基礎的・基本的な操作を学習し、課題図面どおりに作品をしあげる。	a:作業内容を理解し効率的かつ正確に作業できる。 b: 各作業に必要な機能を正しく選択でき、課題に通りに３Ｄモデルを表現できる。 c: 毎回の「振り返り」を行い、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
後期	応用加工実習（Ｂ）	・前期で学んだ応用加工実習(A)の内容を基に、課題図面から工程を考え加工していく。	a:各作業に使用する工具を正しく安全に使い、機械作業の応用が理解できる。 b:作業内容の掌握および効率化を図るとともに、技術を応用し、精度の高い課題製作ができる。 c: 毎回の「振り返り」を行い、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
	モデリング実習（Ａ）	・モデリングの応用的な操作を学習し、課題図面どおりに作品をしあげる。	a:作業内容を理解し、効率的かつ正確に作業できる。 b: 各作業に必要な機能を正しく選択でき、自らが課題をイメージし、３Ｄモデルで表現できる。 c: 毎回の「振り返り」を行い、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度